

2017年11月9日
東急建設株式会社

「津波防災の日」にあわせBCM特別講演を開催

東急建設株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：飯塚恒生）は、「津波防災の日」・「世界津波の日」の取組み期間である11月2日（木）に、京都大学大学院人間・環境学研究科の鎌田浩毅（かまた ひろき）教授による特別講演「巨大地震と火山の噴火は活動期に入ったか」を開催しました。

鎌田教授は1955年東京生まれ。東京大学理学部地学課卒業の理学博士で、通産省（現・経済産業省）を経て1997年より京都大学大学院教授。専門は火山学、地球科学、科学コミュニケーションで、学会関係、著書、TV出演、講演会等でご活躍中です。

講演会は本社会議室で開催され、役員と従業員の約200人が聴講しました。また、講演に参加できない作業所や広域支店には、Skypeブロードキャストによりリアルタイムで放映しました。

この講演により、今後発生が予想される大規模災害について、その発生のメカニズムと被害の想定について、正確な知識を身に付けることが出来ました。今後は、聴講者が職場や家庭に戻り知識を共有するとともに、防災への備えを徹底し、有事の際には建設会社としての役割を担ってまいります。



（講演会の様子：左 鎌田教授）

<本件に関するお問い合わせ>

管理本部 経営企画部 広報グループ 渡鍋

TEL 03-5466-5008 FAX 03-5466-5069 E-mail: webmaster@tokyu-cnst.co.jp